

# 令和6年度 第1回進路指導研修会 実施報告書

## 1. 研修目的

タブレットの導入が進む中で、教育活動のさまざまな場面でより効果的な ICT の活用が求められている。ICT をキャリア教育に利活用している高校の事例紹介を通じて、各校の進路指導の実情に合った ICT の活用方法に関するヒントをし、指導の一助とする。

2. 日 時 令和6年6月28日（金） 15:00～16:10（受付14:30～）

3. 会 場 静岡県私学会館 5階大会議室  
静岡市葵区追手町9-26 電話：054-254-8208

4. 対 象 進路担当教職員等

## 5. 日 程

14:30 ～ 受付

15:00 ～ 開会・部会長挨拶

講演 演題 「ICT を利活用したキャリア教育」

講師 常葉大学附属橘高等学校 主幹教諭 新井裕二 様  
進路課長 水口裕太 様

16:00 ～ 質疑応答

16:10 閉会

## 6. 講演内容

### 1. キャリア教育と探究教育

キャリア教育を生徒自身が偶然または必然的に経験する全てのことが将来を形成すると位置づけ、探究活動の連続性を意識した取り組みを進めている。そのなかで、以下の3つを利活用した ICT 教育を推進している。

① ENAGEED を活用し、概念の言語化を意識させる。

② 探究活動では、地域のイベントや地元企業等との協働を通じて、生徒にさまざまな経験をさせる。

③ Ai-GROW を活用し、探究活動の振り返りや定量化を図る。

学習指導では、ベネッセハイスクールオンラインを活用している。生徒それぞれの課題の「見える化」に役立つだけでなく、教員も根拠ある指導・より自信をもった指導につながっている。

### 2. ICT 教育推進のあゆみ

#### ① 環境ハード面

2017 年度に教職員 1 人 1 台ノート PC 貸与から始まり、年々環境整備が進んでいった。2022 年度には、Wi-Fi 校舎内完備の終了とともに、コロナによるリモート授業等への対応から、この年度の生徒から全学年 iPad 所有となった。

#### ② ソフト面

Classi をはじめ、用途に応じたソフトの導入を進めてきた。その中で、セキュリティの問題や生徒間トラブル、保護者・生徒と教員のトラブルを防ぐための校内のルール作りや、管理方法は今後も考えていかななくてはならない。

### 3. 今後の課題

ICT 教育は大きな可能性を秘めており、今後も ICT の利活用を模索し続けていく。ハード面・ソフト面ともに生徒に与えるだけでなく、社会にでてからこのツールをどう活用させるのかを考えさせることが重要である。

【アンケート結果：8名回答】

1. 今回の研修会に参加して、どのように感じましたか。

とても参考になった	2名
参考になった	6名
物足りない	0名
別の内容が良い	0名

具体的にはどのようなところが、参考になった又は物足りないと感じましたか？

【良かった点】

- ・スクールポリシー・キャリア教育・ICTを活用した教育のつながりが参考になった。
- ・非認知スキルの定量化の仕方、アプリを知ることができた。
- ・実践例を詳しく説明していただいて、とても参考になった。
- ・自校のICT教育にも参考になる部分が多くあり、とても助かった。
- ・県内の私立高校ということで参加した。現実的な内容だった。
- ・さまざまなソフトを導入し、活用していること。
- ・地域の行事に参加し、地域の方と生徒が活動することで、多くの人に学校を知ってもらいきっかけにもなると思った。
- ・探究教育の実践について、参考になることが多かった。
- ・似た課題を抱えているので、参考になった。
- ・情報・データサイエンスの拡充が具体的に参考になった。

【改善点・ご意見など】

- ・クラスパットの実際使っている様子など、動画等で見てみたかった。
- ・総合型選抜に対応するための取り組みに関する情報提供が欲しかった。
- ・進路指導（学校推薦型等への対策）に特化してソフトを使用している具体例が知りたかった。
- ・授業の中でiPadの活用など、さらに具体例を教えていただくとありがたかった。

2. 今後、どのような研修内容を希望しますか。

- ・総合型選抜・学校推薦型選抜対策に関する研修。（3名）
- ・これからの進路指導のあり方について。（2名）
- ・他校視察。
- ・受験指導への探究学習の活用について。
- ・ICT、双方向・反転学習が成功している学校の事例紹介。

3. 感想・ご意見があればお書きください。

- ・今後もオンライン参加ができる研修会を増やしてほしい。多忙な業務の中でも受講できるチャンスが増えて有難い。
- ・講演以外に意見交換会などがあると良い。
- ・活動の振り返りを授業の中できちんと設けることが大切であると改めて感じた。
- ・一人一台端末が実現できたが、双方向の授業展開など、進路実績に繋がっているのか不安がある。県外の状況なども知る機会があれば、と感じた。